

千葉ウイスコンシン協会設立 10 周年記念交流会

去る 5 月 31 日（土）定期総会終了後、55 名が参加し千葉ウイスコンシン協会設立 10 周年記念交流会が開催されました。

冒頭、茂木会長から「これからの 10 年に向けてさらに交流が深く広く拡大してもらいたい」との挨拶があり、特別顧問の森田知事からは「千葉県とウイスコンシン州との交流が 20 周年、30 周年、40 周年と続いて、日本とアメリカが本当に仲のいい国になって欲しい」との祝辞が述べられました。ウイスコンシン千葉委員会からは、宮崎貴美子さんが「数年後にまたともにお祝いできるよう、今後の活動を楽しみにしております」との祝辞が述べられた後、新しくウイスコンシン千葉委員会の委員長になったシャーロン ダルカ氏のビデオメッセージが紹介され、いよいよ交流会の本番となりました。

高柳常務理事の乾杯の発声は、会場をフォーマルな雰囲気から和やかで友好的なムードに換え、食事をとりながら各テーブルでは談笑する様子があちらこちらで見受けられました。

しばらくして、佐原雛子の一員として 2005 年にウイスコンシン州へ派遣された篠笛奏者の片野聡さんの演奏が始まりました。軽快なトークとともに柔らかで澄みきった音色に場内は静まりかえり、聴き入っていました。

続いて、ALT として松戸国際高校で教鞭をとっているイケメンの James Weber さんによるギター演奏と透き通るような歌の披露がありました。うち一曲はポルカで、ALT の皆さんと CWA 会員の参加者が実に楽しそうに踊っていました。



篠笛とギター演奏によるジョイントコンサート



Now, let's dance !

二人のジョイントコンサートも終わった後、千葉県内の高校で ALT として活躍された 3 人の Farewell も併せて行われました。ウイスコンシン州に帰国する人、他の州で仕事をする人と様々ですが、今後の活躍と幸せをお祈りしたいと思います。

3 時間近い交流会は和やかなうちに幕を閉じました。交流会を通じ、今後さらに交流と友情の輪が広がり、深まっていくものと確信しました。